JWAA 会報 6 号

2017年（平成29年）4月

〈目　的〉
当法人は、配線資材の生産、流通等に関わる法人、団体に対し、相互コミュニティの構築、情報の共有と提供、人材の教育に関する事業、国や公的機関との連絡、協力、連携等の社会貢献活動を行うことで、配線資材の安全性の向上、配線資材業界全体の発展と振興を目的とする。

Japan Wiring Accessory Association　発行所：一般社団法人 日本配線資材工業会　http://www.jwaa.jp　〒101-0021 東京都千代田区外神田2-8-9 光村ビル TEL:03-3525-8614 FAX:03-3253-0770

第９回定時社員総会と賀詞交歓会を開催

新会長に松本副会長選出・西日本部会を設立

一般社団法人 日本配線資材工業会（ＪＷＡＡ）は、「第９回定時社員総会」と「賀詞交歓会」を東京・中野サンプラザで１月20日開催した。



第９回定時社員総会で挨拶をする松本新会長

総会には会員82社（委任状含む）が出席し、髙橋信房会長を議長に２０１６年（平成28年）度事業報告と収支決算報告、17年（29年）度事業計画と収支予算などを承認した。

総会冒頭で、髙橋信房会長があいさつし「当工業会も９回目の総会を迎えることができました。酉年はこれまで計画したことが実行に移る年だと言われています。配線資材という細かい部品ですが、拡販できるように今後もよろしくお願いしたい」と述べた。

17年度の事業計画では、懸案であった西日本部会の設立が承認され、部会長に㈱カメダデンキの亀田光郎社長を選出した。


退任の髙橋前会長に花束贈呈

また、役員の改選も行い、設立以来８年間会長を努めていた㈱セフティデンキ髙橋会長が顧問に、副会長の㈱ケー・シー・シー商会姫野冨治取締役相談役が退任したことに伴い、新会長に副会長のアール電子㈱松本年生社長、新副会長にエスジー工業㈱佐藤昭社長と竹内工業㈱竹内保市社長の両理事を選出した。さらに、新任理事に西日本部会長の㈱カメダデンキ亀田光郎社長、西日本部会担当の㈱東名ヒューズ加藤正広社長の２名を選出した。

松本新会長は「大変若輩者ですが、大役に身の引き締まる思いです。会員の皆様に役立つ工業会にしていきたいと思います。会員数１００社突破を目指して、引き続きご支援ご指導をお願いしたい」と就任の挨拶をした。

退任した高橋会長と、姫野副会長に感謝状が松本新会長から贈


感謝状の贈呈　髙橋前会長、姫野前副会長


加藤新理事の挨拶



FOUR SEASONS のサックス四重奏


竹内副会長 中締め挨拶


佐藤副会長 乾杯の音頭

西日本部会の設立を契機に、新たな活動に取り組みたい」と挨拶した後、佐藤副会長の乾杯の音頭で交歓に入った。

途中、女性４人によるサックス四重奏「ＦＯＵＲ　ＳＥＡＳＯＮＳ」による優雅でパワフルな演奏で会場の雰囲気を盛り上げた。また、髙橋前会長、姫野前副会長らが壇上に上がり、工業会発足からの思い出などを語った。

中締めは景気よく竹内副会長が三本締めを行い、盛況の内お開きとなった。

その後、新規入会会員として小泉製作所㈱（横浜市戸塚区、小泉篤代表取締役）、㈱康富（川崎市中原区、髙橋弘代表取締役社長）、㈱イカイ（愛知県豊田市、猪飼隆代表取締役）の３社が紹介された。

総会後の賀詞交歓会には過去最高の１７３人が参加した。

松本新会長が「メーカーと商社が混在した工業会であるが、永年の懸案である１００社の達成に貢献できたらと願っております。

我々の所属する配線資材業界は、扱い商品の幅が広く多岐に渡ります。素材をとっても、各種プラスチック、アルミ、銅、鉄など、一社単独で全てを網羅することは不可能で、従ってお互いに横の取引が欠かせない、ライバル同士であっても取引先という構図が成り立っている、というのが我々の業界ではないでしょうか。それならば、楽しく協力し合い、競い合いながら伸びていく、そして業界としても拡大していく姿が望ましいのではないかと考えております。

これから、若手を中心に、講演会、懇親会をはじめ、楽しい行事を企画して参りますので、西日本の方のみならず全国の皆様もぜひ西日本部会企画の行事にご参加をお願いいたします。楽しく、明るい業界作りを目指して参りますので、今後共よろしくお願いいたします。

会長就任ご挨拶

一般社団法人 日本配線資材工業会
代表理事・会長　松本　年生
アール電子㈱ 代表取締役社長



髙橋前会長の後任として、日本配線資材工業会２代目の会長を仰せつかり、その大役に身の引き締まる思いでございます。髙橋前会長同様、皆様のご指導、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

お陰様で当工業会も２００９（平成21）年に64社の会員で発足してから９年目を迎えました。会員数も83社まで増え、ひとつの目標であります１００社までかなり近づいてきました。また、かねてから計画しておりました懸案の西日本部会も、本年より設立することになりました。引き続き、組織の強化、会員数増強を最優先課題にして取り組んでいく所存でございます。

当工業会は、配線資材にかかわるメーカーと商社が会員として混在していますが、『会員の会員による会員のための工業会』という理念のもと、より良い情報交流の場を築き、会員各社のお役に立つ存在価値のある工業会を目指して活動を続けていきたいと思います。今後も微力ながら配線資材業界の発展に貢献できるように取り組んで参りますので、引き続きご支援、ご指導を賜わりますよう、よろしくお願いいたします。

西日本部会設立にあたりご挨拶

一般社団法人 日本配線資材工業会
理事 西日本部会会長　亀田　光郎
㈱カメダデンキ 代表取締役社長



この度、配線資材工業会西日本部会の発足に伴い、西日本部会長として理事に就任しました亀田光郎と申します。

平素より、会員の皆様には何かとお世話になり心より御礼申し上げます。

さて、長年の懸案でありました当会の西日本部会について、今年1月に持たれましたＪＷＡＡ総会において承認され、正式に発足いたしました。名古屋以西の会員で構成されますが、現在の会員は30社であります。あと20社増やして、50社体制が目標です。悲願の全

配線資材は「安心・安全」のJWAA会員からお求め下さい。

Japan Wiring Accessory Association 一般社団法人 日本配線資材工業会 JWAA

会社名	電話番号
アール電子株式会社	03-3253-7600
株式会社 アイカ	054-340-3672
株式会社 アスタ	052-709-5543
株式会社 イカイ	0565-28-5816
株式会社 稲葉製作所	03-3692-3937
エイブリィ デニソン オーバーシーズ コーポレーション	0425-26-7310
株式会社 エスケイ工機	03-3866-5941
エスジー工業株式会社	03-3554-5461
エッセントラ コンポーネンツ ジャパン インク	045-321-2752
株式会社 エルム電気商会	011-821-1551
エレックス株式会社	052-889-2221
株式会社 エレナ	03-5671-3858
大江電機株式会社	045-241-3700
株式会社 太田化工	054-257-0438
オーム電機株式会社	053-522-5555
株式会社 オールテック	03-5625-0619
株式会社 カメダデンキ	06-6997-5500
北川工業株式会社	0587-34-3561
株式会社 北関東セフティデンキ	049-236-0761
北九州興産株式会社	093-922-0111
協立電業株式会社	042-548-8881

会社名	電話番号
共和産業株式会社	06-6532-3171
株式会社 クラフテック	06-6903-6665
ケイテック株式会社	06-6397-5711
株式会社 ケー・シー・シー商会	078-992-1111
株式会社 小泉製作所	045-881-2873
コウノハイテック株式会社	087-881-7111
光洋ファスナー株式会社	03-3759-1221
株式会社 三真	03-3480-2490
株式会社 サンセイ	052-775-8571
株式会社 サンデン	072-885-0091
三平化学工業株式会社	06-6783-0561
株式会社 サンナイオートメーション	044-751-6361
株式会社 三和	052-221-8161
三和電材株式会社	06-4806-7181
株式会社 シーティーケイ EAST	03-3861-5618
株式会社 シーティーケイ WEST	06-6372-1515
品川商工株式会社	03-3492-0941
篠原電機株式会社	06-6358-2655
芝軽粗材株式会社	03-3788-6314
株式会社 ジュバ	03-3251-7801
株式会社 信越セフティデンキ	0263-82-8780

会社名	電話番号
株式会社 進電	092-525-1181
杉並電子株式会社	03-3399-6685
スズデン株式会社	03-5689-8001
星和電機株式会社	0774-55-8181
株式会社 セフティデンキ	03-3950-3134
セミコンキャリ株式会社	048-227-6633
第一商工株式会社	0268-22-5263
株式会社 ダイジ	0466-55-1777
大同端子製造株式会社	0857-53-1212
株式会社 高木商会	03-3783-6311
竹内工業株式会社	03-3727-7721
中愛株式会社	052-204-2811
ツカサ工業株式会社	052-691-1791
株式会社 電興社	053-441-5444
東栄端子株式会社	03-3866-2121
東海端子株式会社	054-353-2089
株式会社 東京ディップ	03-3736-2721
東方電材株式会社	048-477-2555
東北東技株式会社	022-235-8533
株式会社 東名ヒューズ	052-452-1147
株式会社 特電	055-929-2121

会社名	電話番号
株式会社 ナスデン	06-6850-4691
株式会社 名取製作所	055-922-2883
株式会社 西日本セフティデンキ	052-772-5000
株式会社 ニックス	045-221-2001
株式会社 ニッセイエコ	0466-48-7572
新田電材株式会社	03-3432-3811
日東サプライ株式会社	045-542-6141
日本エイ・ヴィー・シー株式会社	077-514-2411
株式会社 ハギテック	043-423-8741
パンドウイットコーポレーション日本支社	03-6863-6060
株式会社 ヒダカ電材	049-294-2490
ファスコ株式会社	03-3846-9360
ヘラマンタイトン株式会社	03-5790-3113
株式会社 マルタカ電器	0586-75-5151
株式会社 南関東セフティデンキ	045-474-5661
ムツミ金属工業株式会社	06-6962-6068
森宮電機株式会社	03-3854-2031
株式会社 康富	044-750-3403
横山化成株式会社	0745-74-3165
有限会社 菱光産業	092-522-2131

（五十音順）　◎掲載会社はJWAA会員です。

JWAA 事務局：東京都千代田区外神田 2-8-9　光村ビル　TEL:03-3525-8614　FAX:03-3253-0770　http://www.jwaa.jp

第4次産業革命が配線資材業界にもたらすインパクト

昨年11月に、高木俊郎氏を講師に迎えてセミナーを開催しました。大変好評を博したセミナーでしたが、聴講できなかった会員も多数いたため、当日のセミナーに基づいた寄稿文を高木氏に執筆していただきました。

■配線資材業界を襲う『人手不足』

我が国にとって、「生産年齢人口の減少」は深刻な問題である。

「生産年齢人口」とは、労働する年齢層（15～64歳を世界で使っている）人口のことであるが、日本の生産年齢人口は1995年をピークに減少し、総人口に対する割合も過去のピーク70％から、現在では60％ラインを割り込んでいる。

帝国データバンクでは、『企業の人手不足感が過去最高に達した』という最近の調査結果を発表している。配線資材業界に関連する業種でも、50％以上の企業が人手不足感を訴えており、この業界にも人手不足による人材奪い合いが起きる危惧がある。

■特効薬になるか？『外国人労働者（移民）』

人手不足の打ち手として、外国人労働者の活用（移民の促進）も叫ばれているが、現実的ではない。配線資材業界の未来が、移民によって輝くことを想像するのは少し無理がありそうである。

人手不足に対する特効薬が必要であることは疑う余地はないが、その特効薬を探すべく、少し日本の歴史を遡ってみたい。

■歴史が示す人手不足の特効薬『イノベーション』

戦後20年を過ぎた1968年に当時の西ドイツを追い越し、日本は『GDP世界第2位』の経済大国に躍り出た。

高度成長期であった日本は、若年新卒者を『金の卵』と称するほど猛烈な人手不足に陥っていたが、移民にも頼らず、新人を大切に育て皆が団結し、徹底的な設備投資とイノベーションによって人手不足を乗り越え、世界に冠たるものづくり国家を築き上げた。



セミナー風景



講演中の高木氏

この歴史が、人手不足の特効薬は『先端技術の導入とイノベーション』である事を教えてくれる。イノベーションなくして人手不足解消も生産性向上もありえないし、企業の利益も成長もありえない。

■第4次産業革命の衝撃と『ゆでガエル』

人手不足の現状を悲観論ではなく、積極的イノベーション推進チャンスと考えるべきである。幸いにして、世の中は第4次産業革命の真っ只中。インターネット・IoT・人工知能など、最先端技術が足元にやってきている。

配線資材業界にも第4次産業革命の嵐が襲いかかる。企業の存続を左右するインパクトで環境が変化することは必至である。環境変化から目をそむけたら『ゆでガエル』。『ゆでガエル』にならず、特効薬を上手に活用するシナリオを披露したい。

■イノベーションと『5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）』

特効薬の活用で忘れてはならないのが『5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）』である。5Sは、日本で生まれ国境を超えて伝搬し『FiveS』として国際社会に定着している。5Sのできない企業はイノベーションの脱落者である。

世界の製造業を歩くと、自動化などのイノベーションを積極推進し、高い生産性で成長する企業は揃って『5S』を徹底している事に気がつく。この気付きから、『イノベーションは5Sから』と改めて結論付ける事に大きな意義がある。

■第4次産業革命と『情報の5S化（デジタル5S）』

『5S』が完璧に実行されている企業でも、情報に目を転じると、景色は一変する。社内に存在する膨大な情報が社内でバラバラに存在し、多くは担当者任せ。個人のパソコンに格納された情報は、誰も見ることができない。『情報の5S化』からは程遠い現状である。

この状況は、日本の企業の一般的姿であり、海外から大きく遅れている点でもある。第4次産業革命の主役となる『IoTや人工知能』は、配線資材業界にとって夢の特効薬になるのは疑う余地はない。人手不足を解消し、社員の生産性を大幅に向上させる特効薬である。この特効薬を手にするためには、まず『情報の5S化』を実現しなければならない。

■イノベーションの先取り『シナリオ第一歩』

日本の商習慣で、名刺交換の習慣はまだしばらく無くなりそうにない。しかし名刺ですら『情報の5S化』ができず、頂いた名刺は担当者任せで、名刺を戦略的に活用することができない企業が多い。名刺管理を有料で行う会社に委託し『名刺の5S化』を実現する企業もあるが、これだけでは不十分である。

名刺と議事録や写真をリンクしたり、重要人物をカルテ化したり…ビジネスの足元に存在するあらゆる有効情報を『5S化』することが、第4次産業革命のイノベーションを先取りし、輝く未来を構築する特効薬、シナリオの第一歩である。

◆筆者経歴



高木　俊郎（たかぎ・としお）
株式会社アルファTKG社長。1953年長野市生まれ。2014年3月まで㈱アマダ専務取締役。

電気通信大学時代からアジアを中心に海外を訪問して見聞を広め、77年に㈱アマダ入社後も海外販売本部長や欧米の海外子会社の社長をつとめながら、グローバルな観点から日本および世界の製造業を見てきた。



Welcome to LED Whole sale ホールセール by Tomei

リース 分割

月々の分割を利用して、
LED導入でコスト削減をしてみませんか？

¥0 初期費用は無料です！

分割で月々の支払いも良心的！

5年保証で安心して始められます！

E17くん

会社や工場などの照明を
コスト削減するコツをお教えします！

お問合せお待ちしています！

光を見つけるオモシロさ、
LEDを楽しもう。

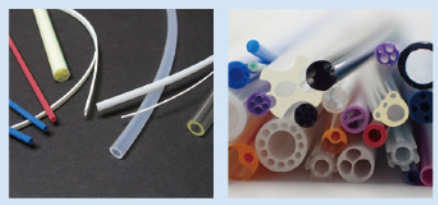
株式会社 東名ヒューズ
本社：〒453-0804　愛知県名古屋市中村区黄金通 6-8-1
TEL：052-452-1147（代表）/ FAX：052-452-5020
＜ 東京営業所・大阪営業所・静岡営業所・埼玉出張所 ＞

弊社オリジナル商品　光ファイバー保護チューブ



ステンレス製のフレキシブルチューブで柔軟性に富み、側圧・引張荷重に非常に強い
その特徴を生かし通信・センサー・レーザー用等の光ファイバーの保護用途に採用されております。
弊社は、お客様の仕様にあった選定・カスタムメイド品などの開発も少量から迅速に承っており、
保護チューブでお困りの際は、ハギテックまでご相談下さい。

医療向け樹脂＆ゴム複合チューブ



日々進化を続ける医療業界において多機能かつ高機能なチューブな要求が高まってきております。ハギテックではさまざまなネットワークを通じてお客様の要望に答えるチューブを提供し続けます。

各種熱収縮チューブ



国内外のメーカー問わず各さまざまな材質の収縮チューブを幅広く取り揃えております。
中でも弊社一押しブランド「G-APEX」は低コストで価格競争力抜群です。

各種コネクター



チューブ接続に必要な流体用継手はもちろんの事、ケーブルグランド＆BOXなどその他豊富な製品もご用意しております。
チューブ＆コネクターを網羅した専門カタログ無償配布中です！！

HAGI チューブ＆コネクターのパイオニア
株式会社ハギテック
〒284-0001 千葉県四街道市大日 246-7
TEL：043-423-8741　e-mail:info@hagitec.co.jp
FAX：043-423-8684　Web:http://www.hagitec.co.jp

新会員会社紹介

□ 株式会社 イカイ □

創　業：1963 年(昭和 38 年)3 月
代表者：代表取締役 猪飼 耕平(いかいこうへい)
本　社：愛知県豊田市今町 5-77
電　話：0565-28-5816　FAX：0565-28-6539
資本金：9,500 万円　　従業員数：35 名
事業内容：配線ダクト・アルミレール・スパイラルチューブ・ワンタッチチューブ等製造販売



弊社は昭和３８年愛知県名古屋市にて創業、平成３年９月に株式会社イカイとして法人化し現在に至っております。プラスチックの押し出し成形を基盤とし、ＩＳＯ９００１・１４００１も取得、自動車部品のものづくりで培った力で配線ダクト・スパイラルチューブ・ホックチューブといった配線資材を製造・販売いたしております。

今回ご縁があり貴会に入会させて頂くことになりました。これから益々厳しい世の中となっていく中、これを機に多くの方々よりご意見を頂きながらより良い製品を作り上げて行きたいと考えております。また微力ではありますが社会にも貢献していきたいと思っております。

弊社は、昨年度開通致しました第二東名と東名高速が交わる豊田東ＪＣのすぐ脇にございます。目の前には豊田市では有名な桜並木もございます。お近くにお越しの折にはお気軽にお立ち寄りください。各方面の方々からの率直なご意見、またご指導をいただければ幸いに存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

□ 三平化学工業株式会社 □

創　業：1951 年(昭和 26 年)3 月
代表者：代表取締役 小林 研策(こばやしけんさく)
本　社：大阪府東大阪市高井田西 2-2-29
電　話：06-6783-0561　FAX：06-6783-0565
資本金：1,500 万円　　従業員数：19 名
事業内容：PVC チューブ他、各種チューブ製造販売



弊社は昭和 24 年旧布施市高井田にて塩ビパイプ製造工場として創業しました。昭和 26 年に三平化学工業株式会社を設立し今期で 67 期目となります。創業以来、マークチューブ、自動車用、鉄道車輌用、漁具用等チューブ・パイプ・異型品等、様々な押出成型品を製造販売してまいりました。多種多様なお客様の御要望に対応できるよう努力しており、おかげさまで各方面より高く評価され信頼を頂いております。今後も「良品を作り続け、お客様の信頼に応える」という理念の下、社員一丸となり精進してまいります。

東大阪市は中小零細企業の集積地であり技術力の高い企業が多数立地する「ものづくりのまち」として全国に知られております。また花園ラグビー場を擁する「ラグビーのまち」として 2019 年にはワールドカップが開催されます。弊社のある高井田は「高井田ラーメン」も有名ですのでお近くに来られた際には是非お試しください。

この度日本配線資材工業会への入会を契機に皆様と新たな関係が築けますことを楽しみにしております。今後とも宜しくお願い申し上げます。

ＪＷＡＡ会員ニュース

（平成28年7月より平成29年4月までの期間）

会社人事

【株式会社ヒダカ電材】平成28年7月付けで、代表取締役社長に西村広生氏（前営業部長）が就任しました。なお、前代表取締役社長の西村徳平氏は退任して相談役に就任しました。

【協立電業株式会社】平成28年7月付けで、代表取締役社長に齋藤顕二氏（前取締役）が就任しました。なお、前代表取締役社長の波多野明夫氏は退任して相談役に就任しました。

【大同端子製造株式会社】平成28年12月付けで、代表取締役社長に松浦　隆氏が就任しました。なお、前代表取締役社長の大坂正治氏は退任して取締役会長に就任しました。

【株式会社セフティデンキ】平成28年10月付けで、代表取締役会長高橋信房氏が退任して、会長に就任しました。

【三和電材株式会社】平成28年12月付けで、取締役副社長に（前専務取締役）の能島宏明氏が就任しました。

【アール電子株式会社】平成29年3月付けで、代表取締役会長高橋　至氏が退任しました。なお、前営業部次長松本大作氏が取締役営業部長に就任しました

新社屋落成

【株式会社スズデン】平成28年12月に設立65周年を迎え、また、同月に本社新社屋が竣工致しました。

▽新社屋住所＝〒112-0002
東京都文京区湯島2-2-2（旧社屋住所と同じです）

本社移転

【株式会社カメダデンキ】平成29年3月に本社及び倉庫を移転しました。（営業開始日3月6日）

▽移転先新住所＝〒570-0002
大阪府守口市佐太中町6丁目47-7

▽新連絡先＝電話・FAX番号が変わります
営業・業務：TEL・06-6901-1001
FAX・06-6901-1111

東京マラソン

平成29年2月28日に開催された第11回東京マラソンに㈱セフティデンキ代表取締役社長の高橋理昌氏、㈱シーティケイＥＡＳＴ代表取締役植田雅幸氏、バンドウィットコーポレーション営業の直江祥嗣氏が出場しました。高橋氏は昨年に続いての連続出場。タイムを昨年より約30分縮めて4時間10分30秒の好タイムで完走しました。植田氏は還暦の身ながら、若者に負けず見事好成績で完走しました。直江氏はフルマラソンが初めての経験ということですが見事完走しました。



植田氏と高橋氏

事務局移転

【ＪＷＡＡ事務局】平成29年2月に、アール電子㈱内に事務局が移転しました。

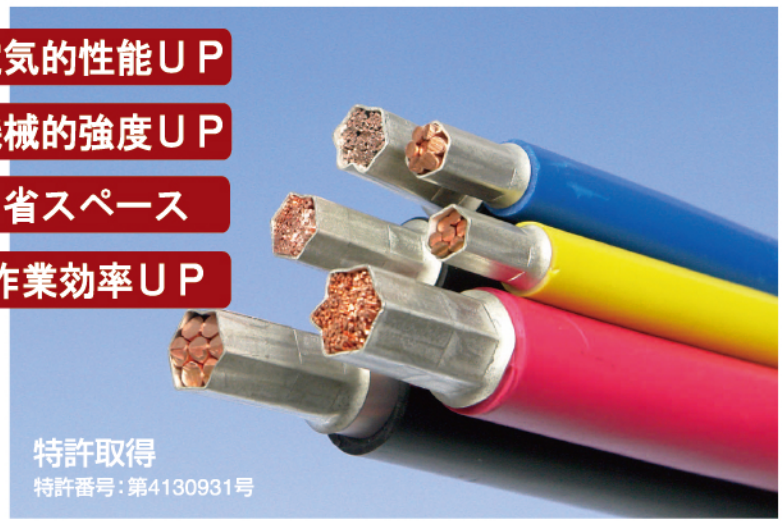
▽住　所＝東京都千代田区外神田2-8-9　光村ビル
▽電　話＝03-3525-8614
▽ＦＡＸ＝03-3253-0770

来年2018年の定時社員総会＆賀詞交歓会の日程

平成30年度の第10回定時社員総会及び賀詞交歓会は、中野サンプラザにて1月18日（木）16：00～より開催の予定です。
（２０１８年インターネプコンは1月17日～19日の開催予定です。）

電線端末処理に革命 !!

COS-sleeve COSスリーブ



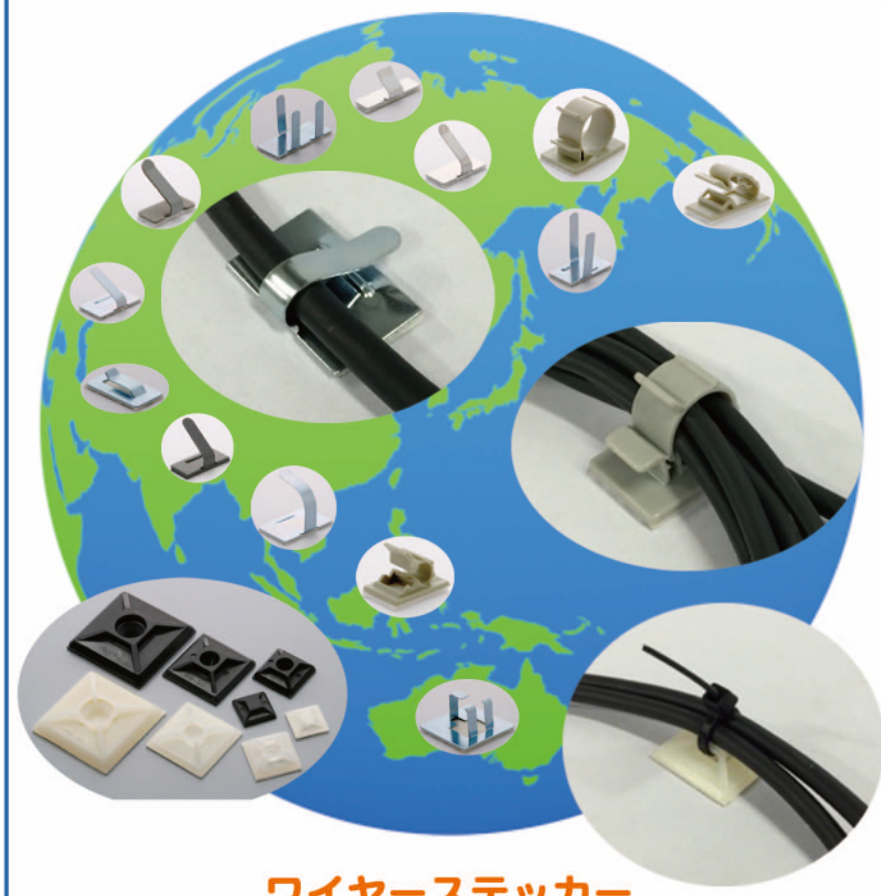
株式会社カメダデンキ本社は
新社屋に移転いたしました !!

（新住所）
〒570-0002
大阪府守口市佐太中町６丁目47−7
TEL06-6901-1001　FAX06-6901-1111



株式会社 カメダデンキ
www.kameden.com
KAMEDA

Cable Accessories



ワイヤーステッカー
多様なニーズにあわせた豊富なサイズバリエーション

創業47年の実績！！

業種：電材アクセサリーパーツ関連部品の製造販売
制御機器、住宅機器関連部品の製造販売

MUTUMI METAL INDUSTRIAL CO.,LTD.
ムツミ金属工業株式会社
http://www.mtm-k.co.jp/
〒536-0017　大阪市城東区新喜多東2-11-13　TEL：06-6962-6068　FAX06-6963-0095

JWAA 青年部会 共催 第４回 企業視察ツアー

昨年10月14～15日、日本配線資材工業会青年部会と共同開催して第４回企業視察ツアーを開催しました。今年の視察先は、工場生産ラインの自動化・省力化を担うＦＡ事業の最先端工場として有名な名古屋市東区にある三菱電機名古屋製作所を見学しました。

見学後は、歴史の重みを感じさせる広大な徳川美術館の一角にある「徳川園宝善亭」で昼食を取り、その後バスで伊勢志摩に移動して、伊勢神宮に全員で参拝。夜は伊勢志摩ロイヤルホテルに宿泊して懇親会を開催。参加者一同大いに盛り上がり、翌朝ホテルで自由解散。希望者は賢島まで足をのばして、秋晴れの快晴のなか英虞湾の遊覧を楽しんで帰京しました。（参加21社、総勢26名）

『企業視察ツアーに参加しての感想』

株式会社 名取製作所　取締役営業部長　酒井　祐一



2016 年 10 月 14 日～ 15 日にかけ日本配線資材工業会青年部主催『三菱電機名古屋製作所工場視察ツアー』に参加させていただきました。



WELCOMEパネル

当日は、天候にも恵まれ、ほぼ定刻に集合場所である名古屋駅をバスにて出発、約 30 分程で三菱電機名古屋製作所に到着しました。名古屋ドーム 6.5 個分（約 30 万㎡）に相当する広大な敷地はまさに壮観で 1924 年に生産を開始した工場には、日本の高度成長期を牽引してきた歴史と威厳をひしひしと感じることができました。

また、いちばん時間かけ見学させていただいた FA コミュニケーションセンターでは最新鋭の FA 制御製品・駆動系製品・コントローラ等の実演を見ることが出来、製品技術力の高さを実感するのはもちろん工場棟自体にエネルギーコスト低減、生産性向上、加工時間短縮を可能にするため、すべて可視化され一目瞭然に把握できるよう集中管理されていたのは圧巻でした。なかでも、人工知能をもちいた産業用ロボットには驚愕するとともに昨今話題になっている人工知能に対しての畏怖をも感じました。しかし名古屋製作所様では「名電技能塾」と題し機械加工では難しい手作業による精密仕上げ、溶接、電子部品の組立等といったベテラン社員が長年培ってきた匠の技を若手社員へ継承することにも注力されていると知り、人工知能では不可能である人間の肌感覚や経験則でしか成しえない繊細な技術、無限の想像力がある限り人間と人工知能の共存は可能であると安堵致しました。


参加者全員で記念撮影

見学後は、名古屋老舗割烹「徳川園宝善亭」で見事な庭を眺めての昼食、午後は伊勢志摩サミットでも注目された伊勢神宮へ全員で参拝。宿泊先は的矢湾を一望する伊勢志摩ロイヤルホテルに宿泊し、夜の懇親会では大いに盛り上がり、お互いの情報交換や日ごろなかなかできないプライベートな話でよりお互いを知り親睦を深めることが出来ました。

翌朝、ホテルで自由解散。希望者は賢島まで足を運び秋晴れの気持ち良い快晴のなか、風光明媚な英虞湾をほぼ貸し切りの大型クルーザーに乗り快適な遊覧を楽しんだ。

また次回このような視察会の機会がございましたら、是非参加させていただきたいと思っております。


伊勢神宮にて


英虞湾遊覧船を望む

セミナー報告

2016 年(平成 28 年)は以下のセミナーを開催しました。

■7月８日　化学物質管理セミナーを開催しました。

●配線資材工業会は、事業活動の中心テーマに化学物質管理セミナーの開催に取組んでいます。平成 21 年第１回を開催以来今回で５回目の開催となります。

1. 化学物質規制の最新動向
2. 効率的な情報検索のヒント
3. 製品化学物質管理のポイント



●講師：㈱フジクラ
主席技術員 地頭園　茂 氏
（じとうその　しげる）
社団法人産業環境管理協会　ＪＡＭＰ/ＡＩＳ作成技術委員

●参加者：19 社　28 名



■11 月 15 日　第４次産業革命といわれる【ＩＯＴ】の解説セミナーを開催しました。

●セミナー内容

1. 一からわかるＩｏＴ、第４次産業革命が配線資材業界にもたらすインパクト。
2. ＩｏＴが私たちの生活、産業構造をどのように変えていくか。
3. ＩｏＴの新しい事業、サービス創出の可能性。

●講師：株式会社アルファＴＫＧ 社長 高木俊朗氏
（元　(株)アマダ　専務取締役）

●参加者：27 社 60 名
今まで開催したセミナーの中で一番多い参加者でした。





会社訪問記

株式会社 ハギテック

市場ニーズを対応でお役立ち

「お客様がどんな製品を求めているのかをいつも聞き、次の商品化に生かして世の中のお役に立ちたい」とハギテックの小野村洋二社長を語る。配線チューブ&コネクタのパイオニアとして、創業43年の歴史を誇るが同社は、少数精鋭ながらフットワークを活かした取り組みで成長を遂げている。



千葉県四街道市は、東京都心から1時間の通勤圏として人口が増加している。ハギテック本社は、ＪＲ四街道駅から車で約10分の住宅街の一角にある。

同社は１９７４年（昭和43年）8月、小野村社長が東京都港区で萩商会として創業した。「両親が山口県萩市出身であったことから社名にした」（小野村社長）。大学卒業後、商社に3年間勤めた後、コネクタやチューブなどの販売のために25歳の若さで独立して始めた。89年に四街道市に本社を移転し、95年には現社名に変更している。

同社を大きく飛躍させたのは、インターネットの普及であった。96年2月にホームページを開設し、取り扱い製品をデジタルデータとして掲載することでＷｅｂ上から製品を探せるようにしたのだ。「インターネットがなければ、当社も地方の電材屋のひとつで終わっていたかもしれない」と小野村社長は振り返る。ホームページに製品を掲載したことで、地域、国境を超え、あらゆるところから問い合わせが入る。

現在は、チューブ・コネクタ事業部と、ゴム・プラスチック製品、理化学機器などの通販サイト「はぎてんねっと」を運用するネット通信販売事業部の2つの部門での事業展開している。そして、２００６年には４５０ページフルカラーのチューブ&コネクタの製品カタログを発行し、あらゆるところに配布してＰＲしてきているのかを常に収集しようとしている取り組みがある。そのひとつは、国内外での積極的な展示会出展である。ここ3年間でも、15年16回（海外7回）、16年15回（同3回）、今年も10回（同4回）の展示会に出展済、及び予定をしている。現在、海外向けの売り上げ比率は約10％、海外からの仕入れは約5％となっているが「展示会の出展は製品のＰＲだけでなく、次の製品開発につながるヒントを探す絶好の機会」（小野村社長）と位置づけており、インターネット活用の両極としてユーザーとのフェイス・トゥ・フェイスも重視している。そして、新製品を開発した社員にはインセンティブを与えることで、常に市場の動向を意識した取り組みの重要性を訴えている。

配線チューブ&コネクタのパイオニアとして着実な歩みを進める同社の今後について小野村社長は「現状で満足すると衰退が始まる。少額で細かな部品であるが、幅広い分野で使ってもらえる可能性がある製品である。国内外でニッチな販売製品を探しながら、新たな市場を開拓し、売り上げ、利益を増やしていきたい」と語る。

疾風に勁草を知るで社員を鼓舞

同社の社是の中に「〝疾風に勁草を知る〟、逆境に強い人間になり、少しのことではへこたれず、働くことを楽しみながら生きていこう」という一項がある。

社員一人ひとりの力を引き出すことで、少数精鋭で着実に成長していこうとする考えが同社の飛躍の原動力となっていることを感じた。


小野村 洋二 代表取締役

Ｗｅｂと展示会をフル活用

こうした高い競争力を維持している同社の背景には、フレキシブルな対応力に加え、ユーザーが何を求めているのかを常に収集しようとしている取り組みがある。そのひとつは、国内外での積極的な展示会出展である。ここ3年間でも、15年16回（海外7回）、16年15回（同3回）、今年も10回（同4回）の展示会に出展済、及び予定をしている。現在、海外向けの売り上げ比率は約10％、海外からの仕入れは約5％となっているが「展示会の出展は製品のＰＲだけでなく、次の製品開発につながるヒントを探す絶好の機会」（小野村社長）と位置づけており、インターネット活用の両極としてユーザーとのフェイス・トゥ・フェイスも重視している。そして、新製品を開発した社員にはインセンティブを与えることで、常に市場の動向を意識した取り組みの重要性を訴えている。

配線チューブ&コネクタのパイオニアとして着実な歩みを進める同社の今後について小野村社長は「現状で満足すると衰退が始まる。少額で細かな部品であるが、幅広い分野で使ってもらえる可能性がある製品である。国内外でニッチな販売製品を探しながら、新たな市場を開拓し、売り上げ、利益を増やしていきたい」と語る。

疾風に勁草を知るで社員を鼓舞

同社の社是の中に「〝疾風に勁草を知る〟、逆境に強い人間になり、少しのことではへこたれず、働くことを楽しみながら生きていこう」という一項がある。

社員一人ひとりの力を引き出すことで、少数精鋭で着実に成長していこうとする考えが同社の飛躍の原動力となっていることを感じた。

【会社プロフィール】

▽会社名＝株式会社 ハギテック
▽代表者＝代表取締役 小野村洋二
▽創業＝１９７４年８月
▽資本金＝３，５００万円
▽従業員数＝31人(パート社員7人含む)
▽本社所在地＝千葉県四街道市大日２４６-７
ＴＥＬ０４３(４２３)８７４１
ＦＡＸ０４３(４２３)８６８４
▽ホームページ＝http://www.hagitec.co.jp
▽事業内容＝
【チューブ・コネクター事業部】
ステンレスフレキシブルチューブ（ファイバープロテクタ）、特殊材フレキシブルチューブ（チタン・アルミ・銅・燐青銅等）、電線保護用金属フレキシブルチューブ・電線保護用ナイロンフレキシブルチューブ、ステンレスパイプ螺旋管（シームレスチューブ・スクリューチューブ）、センサー用保護チューブ、強化型光ファイバー（ピコフレキ・ピココード・ピコドラム）、プラスチックチューブ・Ｐｅｅｋチューブ・ハイトレルチューブ、熱収縮チューブ、ホース（液体用・固体用・気体用）、ケーブルグランド、継手・カップリング・バルブ・バンド類）
【ネット通信販売事業部】
ゴム・プラスチック製品、理化学機器、工業用手袋、シート、パイプ